

決議案第 1 号

ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議案

上記の決議案を提出する。

令和 5 年(2023 年)12 月 18 日

提出者	角 井 英 明
提出者	小 川 隆 史
提出者	和 田 一 繁
提出者	小 川 吉 則
提出者	中 野 正 剛
提出者	奥 野 嘉 己
提出者	森 野 克 彦
提出者	安 澤 勝
賛成者	中 川 睦 子
賛成者	八 橋 龍 二
賛成者	堀 口 達 也
賛成者	北 川 元 気
賛成者	辻 真理子
賛成者	長 崎 任 男
賛成者	伊 藤 容 子
賛成者	黒 澤 茂 樹
賛成者	疋 田 菜穂子
賛成者	森 田 充
賛成者	戸 崎 克 司
賛成者	矢 吹 安 子
賛成者	上 杉 正 敏
賛成者	馬 場 和 子
賛成者	林 利 幸
賛成者	野 村 博 雄

ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議

パレスチナ自治区ガザを支配するイスラム組織ハマスがイスラエルへ越境し襲撃したことによりイスラエル軍との武力衝突が始まり2か月以上が経過した。双方の応酬は、ガザ地区において多くの一般市民、特に子どもたちに大きな犠牲が生じていることは悲惨でその苦痛は想像を絶するものである。

このような事態を受け、11月8日に開催された先進7か国(G7)外相会合が、イスラエル各地に対するハマス等によるテロ攻撃およびミサイル攻撃を断固として非難することや、全ての人質の即時解放を求めることを確認するとともに、ガザ地区において悪化する人道危機に対応するため、戦闘の「人道的休止」および「人道回廊」の設置への支持に関し声明を発表した。また、11月15日には緊急の国連安全保障理事会が開催され、ガザ地区の子どもの人道状況を改善するために戦闘の休止を求める決議が採択された。

ガザ地区での人道危機の改善に向けては長期にわたる戦闘の人道的休止の維持および事態の早期沈静化が必要であり、国連やG7の認識と考えを一にするものである。

本市議会としては、このたびの紛争に対して、市民と共に、次に掲げるとおり一刻も早い事態の解決、紛争の終結を求めるものである。

- 1 戦闘行為の人道目的での休止および一般市民への非人道的行為の禁止
- 2 前提条件無しに全ての人質の即時解放
- 3 人道危機の悪化を防ぎ改善を図るため、国際法に基づき、事態の早期沈静化と人道支援物資の供給

以上決議する。

令和5年(2023年)12月18日

彦根市議会